

館報 おかだ

令和5年5月1日現在
 世帯数：3,298 戸
 人口：3,579 人
 男女計：3,714 人
 7,293 人



女鳥羽中学校長 普明 秀幸

この4月より女鳥羽中学校に赴任しました普明秀幸です。岡田地区の皆さまには、日頃より女鳥羽中学校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。コロナ禍で経験し得られたことを大事にアフターコロナの教育活動を展開していきたいと考えております。地域の皆さまには引き続きお世話になります。今まで以上に開かれた学校、安心・安全が実感できる学校をつくりたいと思います。よろしくお願いたします。



岡田保育園長 藤岡 容子

満開の桜の下、たくさんの笑顔に包まれながら入園式を行いました。体をこわばらせながら過ごしたコロナ禍の中、「人のつながり

人の中で育つことを再確認しました。大きい子たちは小さい子たちのお兄さん・お姉さんになってくれます。小さい子たちは、手をつないでもらったり、手伝いをしてもらったり、その優しさに触れてもらったり育っていきます。今年度は、散歩や地域の交流会でお会いできる機会も増えることでしょう。温かな地域の皆様を支えられ、見守っていただけていることを嬉しく思います。

子どもたちの笑顔が大好きです。子どもも大人もみんなが笑顔で元気に園生活を送れるよう心掛けていきたいと思えます。ご支援、ご協力をお願いいたします。



岡田地区担当保健師 翠川 瑛子

岡田地区担当保健師となりました。初め、翠川瑛子と申します。初めてこの地区の担当となり、わからないことが多くありますので、岡田のことを教えていただけたら嬉しいです。松本市では、保健活動の拠点

を保健センターから地区に移行し、地区の実情に合わせた保健活動をすすめています。そのため、地域づくりセンターに在席することが今までより多くなりま。身近で相談しやすい保健師となれるよう、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

地区担当保健師は、出張ふれ健等の地区行事に参加させていただきます。総合健康相談を行っていただきます。また、毎月第4月曜日の午前中に、福祉ひろばにて保健師の健康相談日を設けています。お子さんから大人の方まで来所できますので、ぜひお越しください。お待ちしております。

知ってほしい編集委員会

新年度が始まり編集委員のメンバーも変わりました。私たち編集委員は月に一度、岡田公民館に集まりイベントの情報を集めたり岡田ならではの情報を持ち寄り取材に行きインタビューをしそれを記事にしています。しかしながら歴史は古いけど小さな地区です。毎回、新しいネタが増えるわけではないのでみんなで話し合い意見交換し知恵を絞り1つの紙面を作るのに必死です。左に編集委員のリストがあります。もし何か記事になりそうなことなどありましたら地区の編集委員などにお話をしてください。喜んで取材に行きますよ。※企業や商品の宣伝や販促にはご利用できませんのでよろしくお願いいたします。(浅輪委員)



編集会議風景

令和五年度 岡田公民館 専門委員の紹介

- 町内公民館長
 - 山 浦 丸山 邦博
 - 伊 深 青木 保
 - 岡 田 山崎 哲史
 - 東 区 山本 祐正
 - 塩 倉 大澤 英俊
 - 神 沢 瀧澤 真知夫
 - 松 岡 平林 伸一
- 文化委員
 - 山 浦 赤羽 晃
 - 伊 深 清水 一夫
 - 岡 田 原 健蔵
 - 東 区 赤羽 由貴
 - 塩 倉 赤羽 雅之
 - 神 沢 中條 功
 - 石 井 貴
- 視聴覚委員
 - 山 浦 赤羽 晃
 - 伊 深 清水 一夫
 - 岡 田 原 健蔵
 - 東 区 赤羽 由貴
 - 塩 倉 赤羽 雅之
 - 神 沢 中條 功
 - 石 井 貴
- 体育委員
 - 山 浦 柳原 元気
 - 伊 深 西村 昇
 - 岡 田 丸山 純一
 - 東 区 大内 守
 - 塩 倉 橋本 純一
 - 神 沢 中條 今朝文
 - 松 岡 高野 憲児
- 図書委員
 - 岡 田 胡桃 沢美枝
 - 伊 深 横山 史恵
 - 東 区 田中 紀子
 - 東 区 北岡 房枝
 - 東 区 村山 寿子
 - 松 岡 中川 信子
- 運営委員
 - 女鳥羽中学校長 普明 秀幸
 - 岡田小学校長 野口 成彦
 - 岡田保育園長 藤岡 容子
 - 町会連合会長 鳥羽 孝和
 - 財産区議長 由比ヶ濱 昇
 - J A 女鳥羽支所長 村上 秀俊
 - J A 女性部支部長 山口 登志恵
 - 女鳥羽中 P T A 会長 滝沢 志帆
 - 岡田小 P T A 会長 石橋 治
 - 民生児童委員協議会長 柴田 信男
 - 子ども会育成会長 三浦 好弘
 - 健康づくり推進員会長 丸山 邦博
 - 児童センター館長 牛越 正博
 - 町内公民館長 7名
 - 専門委員委員長 5名
 - 公民館職員
 - 公民館長 深井久仁彦
 - 公民館主事 田中 貢治

館報編集委員を募集します！
 一緒に公民館報『館報おかだ』を作りませんか？
 若干名を募集します。
 お問い合わせは岡田公民館まで
 TEL : 46-2313 ・ E-mail : okada-k@city.matsumoto.lg.jp

行ってきました！

植林体験&きのこコマ打ち

4月16日(日)に岡田公民館と岡田財産区有林を主会場に開催されたこのイベントへ初参加しました。前日はずっと雨で天気を心配していたのですが、当日は朝から快晴で額に汗を感じるほどの陽気でした。すがすがしく晴れわたる青空だけでなく、木を植える地面が適度に水分を含んでおり、絶好の「植林日和」とのことでした。

岡田財産区はいくつか林を持っており、年ごとに植林の開催場所を変えているそうです。今回、訪れた場所の隣には前回の5年ほど前に植えた赤松が育っており、さらにその隣には前々回の赤松が育っていました。回を重ねるたびに、松の高さが3メートル、5メートルと高くなり、遠くには約20メートルの松もあり



植林体験の様子

ました。本日植えた赤松は、15年〜20年後に三九郎の御神木になる予定です。今の子供たちが大人になって、その世代に生まれたい未来の子供たちに向けて、今日から松の成長が始まると思うと、未来の子供たちに向けた小さな一歩を踏み出したことをうれしく感じました。また、松の育成だけでなく、三九郎という岡田の文化も未来の子供たちに伝えていきたいと思っています。

コマ打ちに使ったきのこは、しいたけの中でも「にく丸(290号)」という種類で、肉厚・丸形で高品質なしいたけを採取できるとのことです。長さ1メートルくらいの原木(ほだ木)に30個くらいの穴がドリルで開けられ、そこに耳栓くらいの大きさのしいたけの素(種駒)を木づちで打ち込みます。事前の案内では参加者はコマを打ったほだ木を持ち帰ることができるということでした。しいたけを育てた経験がなく、無事に収穫できるか不安でしたが、当日の学習会では持ち帰った原木の管理方法の話もありました。収穫は早くても来年の秋ごろのため、管理が適切だったかの結果が判明するまでの間はしばらく不安は続きますが、子供たちと一緒にしいたけの栽培を楽しみたいと思います。

今回のイベントは小学生・中学生とその家族を主な対象とし



きのこコマ打ちの様子

ていたため、財産区の方々が植林やコマ打ちの事前準備として相当の部分をやってくださっていました。コマ打ちに用いるほだ木は、岡田財産区有林の木を使っています。岡田財産区有林の木を使っているのは、岡田財産区の方々が昨年冬のうちに準備されたほだ木を植林する場所には苗を植えるための穴があらかじめ準備されていました。さらに植林をした後は、かやや雑草が赤松よりも大きくなるため、草刈りを年に数回行うとのことでした。そうした財産区の方のご尽力もすべて、「地域の子供は地域で育てる」という理念のもとで行われているとのことでした。

大成功に終わった今回のイベントも、財産区の方をはじめ育成会の方など、たくさんの方の想いに支えられています。公民館報編集委員として、そうした想いを公民館報にて伝えていきたいと思いをしました。

(体験・取材 松岡委員)

岡田で広がる松枯れ

岡田公民館の前の景色が変わっていることにお気づきでしょうか。玄関前のシンボルの存在だったアカマツがなくなっています。枯れてしまったので4月に岡田財産区森林委員会の方に伐採していただきました。岡田出張所長の山岸さんによると、昨年毛虫が多数発生し、消毒したにもかかわらず多量の葉が食べられたようです。その後、残った葉も変色し枯れてしまっています。枯れた原因はわかっています。枯れた原因はわかっています。枯れ対策の樹幹注射がされていなかったため、松枯れ病による可能性もあります。

松枯れ病は、長さ1ミリのほどのマツノザイセンチュウという線虫が引き起こす伝染病です。この線虫をマツノマダラカミキリが運びうつします。この線虫は北米原産で輸入材を介して日本に侵入したと考えられています。海外から入ってきた伝染病なので、日本の松は耐性がなく急激に広がってしまいました。

今、岡田地区ではほとんどのアカマツが枯れてしまっています。岡田財産区の標高の低い所の松、個人所有の里山の松、庭の松と。アカマツが枯れてしまうと、材としての損失はもちろんです。マツタケも採れなくなってしまう。また、倒木による周辺への損害の可能性など、多くの問題を引き起こします。

枯れたアカマツ林はどうなっていくのでしょうか。岡田地区松くい虫対策協議会が伐採と森林整備を進めています。伐採した後、その場所にあわせ、カラマツ・ヒノキ・コナラなどが植林されています。植林が行われない所では、アカマツの林床にいたコナラ・クスギ・アカマツなどの幼樹が生育していきます。特に里山はドンダリのなるコナラや紅葉のきれいなモミジが育っていくことでしょう。

(尾曾委員)



伐採されたアカマツ